

授業科目名・形態	社会福祉概論 I	講義	必修・選択の別	看護学科は必修
担当者氏名	中里 操・林 宏二	開講期	1 年前期	単位数 2

【授業の主題】

現代社会における社会福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。福祉の原理や哲学を理解し、福祉の社会的意義や目的と福祉システムを理解する。社会福祉の理念や制度は憲法第 25 条の理念を基礎に形成されてきたことを踏まえ、福祉政策社会福祉の今日の問題や課題について考える。この科目は医療・介護・福祉・教育等生活者が抱える課題を認識するための方法と、社会福祉の共通の専門基礎知識と技術について学ぶ。この学びを通して福祉人として児童・子育て支援や高齢者・障害者の生活支援、介護・看護・教育場面などの様々な援助場面における課題解決に向けた援助者としての基礎的能力を養う。

【到達目標】

- 1 社会福祉を正しく理解するために、社会福祉学固有の研究・認識方法を理解する。
- 2 社会福祉の原理を巡る諸理論と福祉の哲学、価値論について理解する。
- 3 社会福祉制度・政策の課題について理解する。社会福祉の理念や目的、具体的なサービスの供給と利用のシステムについて理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 福祉の視点と枠組み（福祉の新たな展開と福祉政策理解）（中里）
- 第 2 回 福祉を学ぶ視点と枠組み（社会福祉の本質と認識・研究方法）（中里）
- 第 3 回 社会の変化と福祉①（市民権の確立、福祉国家の成立と変容）（中里）
- 第 4 回 社会の変化と福祉②（現代社会の変化と福祉）（中里）
- 第 5 回 福祉と福祉政策①（福祉の価値規範と福祉の拡大・限定）（中里）
- 第 6 回 福祉と福祉政策②（福祉政策の変容と社会福祉士の役割・機能）（中里）
- 第 7 回 社会政策と福祉政策①（社会政策の中の福祉政策）（中里）
- 第 8 回 社会政策と福祉政策②（社会政策体系と福祉政策体系）（中里）
- 第 9 回 福祉政策の発展過程①（戦後福祉の成立）（林）
- 第 10 回 福祉政策の発展過程②（高度経済成長期の福祉政策）（林）
- 第 11 回 少子高齢化時代の福祉政策①（福祉政策の調整と進展）（林）
- 第 12 回 少子高齢化時代の福祉政策②（1990年代および2000年代以降の福祉政策）（林）
- 第 13 回 社会福祉制度の体系①（社会福祉制度の構造）（林）
- 第 14 回 社会福祉制度の体系②（社会福祉制度と福祉サービス）（林）
- 第 15 回 地域共生社会（林）

【授業実施方法】

講義形式で行う

【授業準備】

前回の講義内容を復習する。講義予定内容を読み、専門用語など解らないこと、疑問点などを整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、自分なりの理解と説明ができる状態で主体的に学習の準備をする。

【主な関連する科目】

社会学、公的扶助論、社会保障論、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

新・社会福祉士養成講座『現代社会と福祉』第4版 中央法規出版

【参考文献】

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 20%、期末試験の成績 70%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

社会福祉に関する基盤となる科目です。自分の生活に重ね合わせながら、地域社会の中で起きている福祉問題に関心を寄せてください。事象の奥にある見えない要因を探ってください。講義は板書を中心に行うので、しっかりノートをとることが大切です。しっかり講義を聴きノートをとることによって教科書の行間のメッセージまで理解できる力をつけて下さい。